

Mother House



暮らしと心を豊かにする地域の情報誌「マザーハウス」
発行/一級建築士事務所(株)石田工務店/年4回発行(季刊)

皆様おかわりないですか。きれいだっただけの花びらも散り新緑が美しい季節になってきました。これからはひと雨ごとに緑が濃くなってきます。いよいよ五月晴れの後、梅雨を迎えます。長雨と蒸し暑さには閉口しますが、梅雨は日本の稲作づくりにはかせないありがたいものですね。

今の家にお住まいになって何年になりましたか。住まいは雨と湿気に弱いものです。床がぶかぶかして沈んだりしていませんか。天井や壁にシミはありませんか。窓まわりが黒ずんだりしていませんか。雨もりや漏水にはくれぐれも注意してください。家に長く住むには、早め早めのメンテナンスが必要です。五感を働かせて愛情をもって家を見つめてあげれば、不具合もわかるかもしれません。

住まいは丈夫につくりたいもの。長く住みたいもの。住まいは私たちのもう一人の大きな家族といえるかもしれません。私たちは皆さんと家づくりと住まい方について一緒に考えていきたいと思っています。

もうすぐ京都の蒸し暑い夏を迎えます。くれぐれもお体を大切に、無理をなさらないようにしてください。

平成24年4月吉日

代表取締役 石田泰久

梅雨前に注意!

こんなことは
ありませんか?

長雨が続くにつれて気温と湿度が増していくと住宅にもいろんな影響がでできます。

床のぶかつき/床のシミ・黒ずみ/洗面所の床下部の劣化/シロアリが発生している
1階の床が傾いてきている/横トコから水が落ちる/家の中が湿気やすいカビくさい
バルコニー下の部屋の天井にシミが出てきた/床下がぬれている湿っている
2階の外壁まわりの壁や天井にシミがある/冷暖房の効きが悪くなった/キッチンや洗面所の排水からの水漏れを起こした/1階の外周1面または2面が窓ばかりで壁が少ない住宅...



気になったらすぐ対応!できるだけ早く専門業者に見てもらいましょう。

木造住宅に
お住まいの皆様へ

愛情をもって家を見つめることが長く住む住まい方につながります

長く住める 住まい方2つのポイント

1 結露が起きにくいように住む

水蒸気を発生する暖房器の使用を避ける。
換気を心掛け、室内の水蒸気を外に出す。
特にお風呂やキッチンからの水蒸気に注意する。
部屋間の温度差を少なくし間仕切り壁を結露させない。



2 水や湿気に注意をはらい生活する

床下換気が十分にできているか確認する。
床下換気孔のまわりに物を置かない。
雨樋の割れや折れに注意する。
屋根からの雨漏れ、窓枠からの雨の浸入に注意する。
建物と一体となったバルコニーの雨漏れは要注意。
排水管、給水管からの水漏れに注意する。
使用水料の大幅な増加は漏水の恐れがあるので料金請求額をこまめにチェックする。



新たに住宅を
建てる方のために

約8割の人が建てたいと思う木造在来軸組工法

長く住める 家づくり3つのポイント

1 強くつくる

地盤の確認と地盤補強。基礎は厚く。木構造は強固に。

地盤の確認と地盤補強
基礎は厚く、太く。
地震に対しては
まず耐震構造。
壁面、床面を強く。
コーナー部分はL型に壁をつくる。
外壁と構造部分は丈夫な材料を使う。

2 耐久性重視

基礎は木構造を劣化させにくい布基礎よりベタ基礎工法で施工する。
日本の気候風土に適した構造木材を使用
国産木材がベスト。
家を腐らせない結露しにくい断熱材を使う
グラスウール、ロックウールの使用は要注意。
結露しにくい窓枠やガラスを採用。
換気で汚れた空気や水蒸気を排出。
メンテナンスしやすい
取替しやすい構造体づくり。

3 いつまでも 使いやすい

調理、洗濯の導線は大切に。
内部の間仕切りは少なくし
可変的な住み方が出来るように。
階段の蹴上げは低く踏面は広く。
京都の夏の暑さや冬の底冷えに
対応した家づくり。
ランニングコストのかからない家。
飽きのこない普遍的なデザイン。

家づくりに大切なことは「愛情を注いで家づくりに関わる」ことではないでしょうか。愛情を注いで家づくりをすれば、「早く家に帰りたい」という思いがより深まり家を見守る気持ちも強くなります。それが結果的に家を長持ちさせることにもつながるのです。マザーハウス石田工務店では、皆様のこれからの家づくりに役立ててもらえるよう、「家づくり」について基本から学んでいただける「京都の住まい講座(裏面参照)」を開講しています。ぜひ活用ください。暮らしやすい世界に一つだけの家をつくりあげましょう。

